

## 平成 31 年度「社会人のための就農講座（実践講座）」受講者の募集案内

農業大学校では、県内で本格的な就農を予定している社会人を対象に、作物の播種から収穫等までの栽培期間を通した実習とともに、農業大学校の講義の聴講、先進農家での研修等を通じ、農業経営に必要な知識・技術を習得する平成 31 年度「社会人のための就農講座（実践講座）」を実施予定です。

ただし、本公募は、平成 31 年度予算案に基づいて行うものであるため、成立した予算の内容に応じて、講座内容、受講定員等の変更があり得ることに御留意願います。

### 1. 実践講座の概要

受講者要件	① 県内において本格的な就農を予定している 65 才未満の者 ② 別表 1 の実習に要する回数の原則 8 割以上出席できる者 ③ 耕作可能な農地を所有や貸借により取得若しくは取得に向け取り組んでいる者、又は農業法人への就職を目指している者 ④ 就農していない者		
開講日	平成 31 年 4 月 9 日（火）		
受講コース	実習開始時期と主な実習品目		受講定員
	4 月	8 月	
露地野菜		キャベツ、 ブロッコリー、 レタス、タマネギ等	4 名
施設野菜	雨よけナス、雨よけピーマン アスパラガス、イチゴ、 茎葉菜類、キュウリ、トマト		4 名
花き	トルコギキョウ、 施設キク		若干名
果樹	温州ミカン、 中晩柑、ブドウ、ナシ		若干名
			計 10 名程度
講座の内容	○農業大学校のは場やハウスでの実習 ○先進農家研修 ○農業基礎に関する研修 ○農業大学校講義の聴講 ○資格・免許の取得		
講座の実施方法	別表 2 のとおり		
受講料	○受講料は無料です。 ○ただし、受講期間中の傷害保険料及びテキスト代、免許や資格の取得等に要する経費は受講者の実費負担となります。		

(注) 1 実習期間は、作物の栽培期間によって異なります。主な実習作物の実習計画は、別表 1 に記載しています。

2 受講コース、実習開始時期別に定員を設けているため、特定の受講コースに希望者が集中した場合、選考により受講者の調整を行います。

## 2. 申込みから受講決定まで

### (1) 受講申込み

受講希望者は、別紙受講申込書（様式2号）に必要事項を記入のうえ、直接本校へ提出してください（郵送可）。

受講申込み期限：平成31年2月28日（木）

受講申込書提出先・問い合わせ先 佐賀県農業大学校研修部農業研修課（担当 井手 外尾） 〒840-2205 佐賀市川副町南里1088 TEL：0952-45-2145 FAX：0952-34-7004
--

### (2) 面接審査

受講者を選考、決定するために15分程度の面接審査を行いますので、受講申込者は出席してください。面接日は平成31年3月15日（金）を予定しており、面接の時間は、農業大学校から連絡します。

### (3) 受講決定

面接審査等の結果により、3月末日までに受講決定の通知をします。

別表1 受講コース別の主な実習品目の実習計画

## 1 露地野菜コース

実習開始	実習作物	実習期間	実習計画		実習に要する回数(概数)	
			時期	作業内容	時期別	全期間
8月	キャベツ、 ブリッコリー、 レタス、 タマネギ等	8月～3月	8月～10月	年内採り野菜播種 土づくり、畝立て、播種、定植	週1回	30
			11月、12月	年内採り野菜の収穫、播種、定植	週1回	
			1月～3月	冬採り野菜の収穫、冬期の管理	週1回	
※露地野菜コースの全受講生は、同日に実習を行い、約4品目の野菜を共同で栽培する						

## 2 施設野菜コース

実習開始	実習作物	実習期間	実習計画		実習に要する回数(概数)	
			時期	作業内容	時期別	全期間
4月	雨よけナス	4月～12月	4月	土づくり、元肥、定植準備、定植	週1～2回	30～50
	雨よけピーマン		5月～12月	収穫、整枝、病害虫防除		
	茎葉菜類	7、8月以外の6ヶ月程度	7、8月以外	播種準備、播種、かん水、肥培管理、病害虫防除、収穫・調整	週1～2回	30～50
	イチゴ	通年	4月～7月	小苗取り、育苗管理、病害虫防除	週1～2回	30～50
			8月、9月	土づくり、施肥設計、定植準備、定植、かん水、誘引		
			10月～3月	収穫、整枝、加温管理、病害虫防除		
	アスパラガス	4月～3月	4月、5月	立茎準備、立茎、追肥、摘芯、病害虫防除、夏芽収穫、整枝	週1～2回	30～50
			1月	地上部刈り取り、元肥、保温	週1～2回	
	トマト	4月～3月	8月、9月	土づくり、施肥設計、定植準備、定植、かん水、誘引	週1～2回	30～50
	キュウリ		10月～3月	収穫、整枝、加温管理、病害虫防除		

## 3 花きコース

実習開始	実習作物	実習期間	実習計画		実習に要する回数(概数)	
			時期	作業内容	時期別	全期間
4月	トルコギキョウ	5月～12月	5月～7月	播種・育苗	2週1回	30
			8月	土壌消毒、定植、病害虫防除	週2回	
			9月～11月	脇芽処理、病害虫防除	週1回	
			12月	収穫、加温	週2回	
	施設キク	5月～12月	5月、7月	親株移植	週1回	40
			8月、9月	採種、土づくり、元肥、定植準備、定植、初期管理	週2回	
10月、11月			病害虫防除、芽つき、電照、保温	週1回		
			12月	出荷、植え替え	週2回	

## 4 果樹コース

実習開始	実習作物	実習期間	実習計画		実習に要する回数(概数)	
			時期	作業内容	時期別	全期間
4月	ミカン、 中晩かん	4月～3月	4月、5月	摘蕾、花肥、花弁落とし、夏肥、病害虫防除	週1回	30
			6月、7月	摘果、かん水、マルチ被覆、病害虫防除	週1回	
			8月～10月	仕上げ摘果、かん水、樹上選別、病害虫防除	週1回	
			11月	収穫、貯蔵、秋肥	週1回	
			3月	整枝剪定	週1回	
	ブドウ (トンネル)		4月	新梢管理	週1回	40
			5月、6月	GA処理、摘粒、袋掛け、病害虫防除	週2回	
			7月	病害虫防除、ビニール除去	週1回	
			8月下旬まで	収穫、調整	週2回	
			1月	整枝剪定	週1回	
	梨 (トンネル)		3月	ビニール被覆	週1回	30
			4月	摘蕾、受粉、摘果、病害虫防除	週1回	
			5月	ビニール除去、摘果、玉肥、	週1回	
			6月～7月	新梢管理、病害虫防除	週1回	
			8月下旬まで	収穫、調整	週1回	
		12月～1月	整枝剪定	週1回		
		3月	ビニール被覆、春肥	2週1回		

別表2 実践講座の実施方法

項目	内容
I 農業大学校ほ場やハウスでの実習	<p>1 受講コース別実習計画 別表1のとおり</p> <p>2 実習日 実習日は、次の日を除く日とする。 ① 土・日曜日、祝日 ② 1月1日から同3日及び12月29日から同31日までの日 ③ 農業大学校の行事等により農業大学校長が定める日</p> <p>3 実習回数 原則として別表1の実習に要する回数のとおりとする。 なお、別途、実習を希望する者は、上記以外にも実習を行うことができる。</p> <p>4 実習時間 実習時間は、原則として9:00～16:00の間とし、この時間内で各受講コースの指導担当職員と調整する。</p> <p>5 実習方法 実習は、各受講コースの指導担当職員の指示に従う。</p> <p>6 生産物の取り扱い 実習により生産された農産物は農業大学校に帰属する。</p> <p>7 傷害保険への加入 実習期間中は傷害保険への加入を条件とする（Ⅱの先進農家研修期間中も含む）</p>
Ⅱ 先進農家研修	<p>1 研修内容 先進的農業者等（以下「指導者」という）から農業経営に関する考え方や経営の組み立て方、生産技術について助言・指導を受ける。</p> <p>2 研修日及び研修回数 研修日は、農業大学校における実習日以外で、研修回数は2回とする。なお、指導者との調整により土・日曜日、祝日を活用することもできる。</p> <p>3 指導者の選定 指導者は、受講者の就農希望地、実習作物を考慮し農業士等から選定する。</p>
Ⅲ 農業基礎に関する研修	<p>1 研修科目 農業機械研修、農産物の販路開拓についての研修、農業法人視察等</p> <p>2 研修日時 農業大学校長が指定する日時</p> <p>3 その他 上記研修の他に、受講者が農業に必要な知識について研修等を希望した場合は、必要に応じて開催する。</p>
Ⅳ 農業大学校講義の聴講	<p>受講者は希望すれば、実習期間に関わらず、受講年度の農業大学校講義（作物・野菜総論、土壌肥料総論、農業経営等）を聴講することができる。</p>
Ⅴ 資格・免許の取得	<p>受講者は希望すれば、農業大学校が実施する農業機械化研修等の資格・免許取得のための研修を受講することができる。ただし、希望者多数の場合は、受講できないこともある。</p>